

自然のこと（生物多様性のこと）

生物多様性ってなに？

“生物多様性”とは「生きものたちの豊かな個性とつながりのこと」であるといわれています。また、その多様性には「生態系の多様性」「種の多様性」「遺伝子の多様性」の3つの種類があるとされています。

生態系※1

の多様性

山、川、田んぼなど、生きものをとりまく様々な環境があること



※1 生態系…生きものとそれをとりまく環境、そしてそれらのつながりのこと

種※2

の多様性

鳥や魚、虫や哺乳類など、様々な種類の生きものがいること



※2 種…生きものを、その見た目、住む地域、主な食べ物などの様々な特徴によって区別したもの

遺伝子※3

の多様性

同じ種でも模様や大きさなど、様々な個性を持つこと



※3 遺伝子…体の特徴などの「個性」を親から引き継ぐためのもの

生物多様性の4つの危機

① 開発や乱獲による危機

人間が生活を便利にするために自然を壊したり、売買のために獲ったりすることで生きものが減っています。



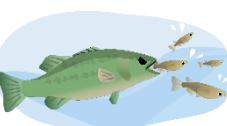
② 里地里山※4 の手入れ不足による危機

里山の木々の手入れをする人が少なくなり、里地里山の生態系が変化し、生きものが住みにくくなってしまいます。



③ 外来種※5 による危機

外来種によって、もともとそこにいた生きもの（在来種）の住みかや食べ物が少なくなってしまいます。



④ 地球環境の変化による危機

地球温暖化で氷河が溶けて、海面が上昇したり、海水温度が上がったりすることで生きものが生活しにくくなってしまいます。



※4 里地里山…人々の暮らす家の集まりと、その近くの農地、ため池、人が管理している森林などでできた地域のこと

※5 外来種…もともといなかった国や地域に、人間によって持ち込まれた生きもののこと

しじん せいぶつたようせい 自然のこと（生物多様性のこと）

ぎふ 岐阜市の生物多様性

岐阜市では、約5,800種類の動物や植物が確認されています。これは、長良川、金華山をはじめ、人が手入れしている里山、田んぼ、水路などに様々な生きものが暮らしているからです。



岐阜市版レッドデータブック・ブルーデータブック

岐阜市では、市内の生きものの種類や生息地について、何十年も調査を行ってきました。その結果、昔と比べて減ってしまった生きものや、人間の活動が原因で入ってきた生きものなどがわかりました。

こうした生きものたちを、多くの人に知ってもらうために、市内の絶滅が心配される生きものをレッドリストに、外来種をブルーリストに選び、「岐阜市版レッドデータブック・ブルーデータブック 2023」を作成しました。

令和3年までの調査で、植物、哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、昆蟲類、貝類、甲殻類で合わせて5,809種が確認されました。そのうち、420種をレッドリストに、276種をブルーリストに選定しています。



ぶんるいぐん 分類群	全記録種数	レッドリスト 掲載種数	ブルーリスト 掲載種数
植物	1,772	268	166
動物	哺乳類	35	10
	鳥類	254	24
	爬虫類	22	6
	両生類	16	11
	魚類	74	27
	昆蟲類	3,514	28
	貝類	113	42
	甲殻類	9	4
合計	5,809	420	276

しじん せいぶつたようせい 自然のこと（生物多様性のこと）

ぎふ き 岐阜市の貴重な野生生物を守る取り組み

岐阜市では、生息・生育環境の悪化によって絶滅が心配されているヒメコウホネ、ヤマトサンショウウオ、ホトケドジョウを貴重野生動植物種に指定し、地域の人と協力しながら生息状況などの調査や保全活動を行っています。

ヒメコウホネ

金華山の東側にある達目洞に、5月から10月にかけて咲いています。「達目洞自然の会」という団体が中心となって、毎月保全活動を行っています。



（撮影：平田 亨氏）

ヤマトサンショウウオ

市内では1か所だけで生息しています。岐阜高校やアクア・トトぎふ、岐阜大学の人達と協力して、絶滅しないように保全活動を行っています。



ホトケドジョウ

山際の水がしみだしているような所に生息しています。里山を代表する生きもので、毎年生息状況の調査を続けています。



（撮影：寺町 茂氏）

まつお 松尾池に集まる野鳥たち

百々ヶ峰の南側には松尾池があり、その周辺は、萩の滝自然公園として観光整備されています。水面には一年中多くの野鳥が集まるため、写真撮影スポットとして人気の場所となっています※。

一年中見ることのできる野鳥は、オオタカやカワセミ、コゲラ、ヤマガラなどです。夏にはキビタキ、秋ごろからはオシドリやマガモ、ルリビタキなどの色とりどりの野鳥を見ることができます。



オオタカ



カワセミ



コゲラ



ヤマガラ



キビタキ



ルリビタキ

松尾池から100mほど奥に入ついたところに萩の滝があります。萩の滝は2段になっていて、下流の大滝、上流の小滝を合わせて萩の滝と言い、松尾池の周りから萩の滝までは遊歩道が整備され、市民の憩いの場となっています。

※松尾池は改修工事のため、水を抜いています（令和7年3月現在）。

しじん せいぶつたようせい 自然のこと（生物多様性のこと）

身近な外来種

外来種とは、もともといなかった地域に、つれて来られたり、やってきた生きもののことです。わたしたちの身近には、たくさんの外来種が生息・生育しています。

川でよく見かけるミシシッピアカミミガメやアメリカザリガニは、令和5年6月から特定外来生物に指定されており、生きたまま野外に放すことは禁止されています。

また、令和5年5月には、長良川でコクチバスが発見されています。釣りなどの目的で持ち込まれたコクチバスは、北アメリカ原産の肉食の魚で、速い流れにも対応し、アユなどを食べてしまうことが心配されています。そのため、岐阜県がコクチバスの放流の禁止を周知・啓発するとともに、電気ショッカーのついたボートを使用して駆除を実施しています。



ミシシッピアカミミガメ



アメリカザリガニ



コクチバス
【環境省ホームページ】
(<https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/asimg.html>)

令和6年度 の取り組み

せい 生物多様性シンポジウムを開催

生物多様性の保全について、皆さんと一緒に学ぶイベントとして、毎年開催しています。

令和6年度のシンポジウムでは、レッドリストとブルーリストの生きものや水族館の魚などについてお話を聞いたりしました。



令和6年度 の取り組み

アースレンジャー自然体験塾を開催

1年を通じて楽しく自然体験を行い、生物多様性に興味を持つきっかけ作りをするために、令和3年度から毎年開催しています。

令和6年度は、みつばちの恵みについて学んだり、川や山の生きもの探しをしたり、お米作りの体験をしたりしました。

